

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	小児看護	単位数	1単位 (1、2学期)	学年・学科・コース	2年・衛生看護科
使用教科書	看護学入門12 母子看護 (メヂカルフレンド社)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、小児看護の実践に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・小児看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・小児看護について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、小児の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
小児の成長・発達の過程を身体的・精神的・社会的側面から理解するとともに、成長・発達に応じた育児及び健康状況に応じた看護に関する知識と技術を身に付けている。	成長・発達の過程にある小児の健康課題の具体例を取り上げ、看護の職業倫理を踏まえ、小児の安全・安楽や権利擁護、成長・発達を促す視点から援助を考察するとともに、家族を含めて実施する援助とその根拠を明確にして課題を解決する力を身に付けている。	小児の健康課題の解決に当たっては、疾病・障害等の回復や健康管理とともに、小児の成長・発達の視点を重視し、主体的かつ協働的に看護の実践に取り組む態度を身に付けている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
7	小児の健康と看護	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の健康の特徴 ・小児の保健と福祉 ・小児看護の特徴 ・小児看護の倫理的課題 	○			・小児の健康と看護について理解できる。	定期考査 授業態度 提出物 発問評価 小テスト 技術到達度
				○		・小児の健康と看護に関わる多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだすことができる。	
					○	・小児の健康と看護について自ら学び、小児の健康の保持増進を目指して、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
8	小児各期の健康課題と看護	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児期・乳児期 ・幼児期 ・学童期 ・思春期 	○			・小児各期の健康課題と看護について理解するとともに、関連技術を身に付けることができる。	定期考査 授業態度 提出物 発問評価 小テスト 技術到達度
				○		・小児各期の健康課題と看護について多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだすことができる。	
					○	・小児各期の健康課題と看護について自ら学び、健康の保持増進を目指し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
9 10 11	診療を受ける小児の看護	<ul style="list-style-type: none"> ・診療に伴う看護 ・急性期 ・慢性期 ・終末期 	○			・診療を受ける小児の看護について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。	定期考査 授業態度 提出物 発問評価 小テスト 技術到達度
				○		・診療を受ける小児の看護について多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだすことができる。	
					○	・診療を受ける小児の看護について自ら学び、小児の安全・安楽を守り、回復の促進または穏やかな最期を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	